

2024(令和6)年度 事業計画

若杉作業所

～事業計画策定にあたって～

新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類に移行したものの、新たな派生株への置き換わりが進む中、引き続き、検温やゆとりを持った空間の確保など、感染予防に努めていきます。

また、発災時の利用者の安全を確保するため防災訓練を繰り返し実施するとともに、防災会議を通じて職員の防災意識を高めます。特に、今年度は、施設近隣の防災マップを作成します。

本年度も、次に掲げる視点で基本方針を定め、支援を行ってまいります。

- ・個々の利用者の生活に着眼し、利用者個人の主体性を大切にした支援
- ・人権意識と倫理観に裏打ちされた利用者支援の専門性の向上

1. 基本方針

法人の経営理念である「私たちは、利用者の豊かな人生の実現のために、法人の英知を集結し、最高の福祉サービスを提供するとともに、地域に愛される法人を目指します」という理念を基本方針とし、利用者とともに、今の生活だけにとらわれず、先の生活を見据え、必要な支援と福祉サービスを考えていきます。

2. 支援概要

利用者の人権を尊重し、個性を理解し障害の状況や適性に応じた支援を行うことで、地域社会における自立を目指します。その中で、生活介護事業として「快適な生活」につながるように、個々の状況に応じた個別支援計画を作成します。

具体的には、関係事業所や保護者、相談事業所と連携することで生活状況を把握し、課題やニーズを引き出した上で個別支援計画を作成し、その支援計画に沿って様々な日中活動支援を行っていきます。また、支援者は利用者の障害特性に配慮したコミュニケーションの技法を用いて利用者の意思決定支援を行います。

◎生活習慣に関する支援

利用者の健康維持・増進を図り、日常生活における身辺処理力の維持・向上をはじめ、様々な生活習慣の確立をめざした支援を行います。

◎快適な生活につながる支援

利用者が、事業所内外における活動を通じて様々な経験をする機会を設け、環境適応、対人関係の構築など、行く先を見据えた支援を行います。

◎健康管理

看護職員による月1回の体重測定、年2回(6月・2月)の尿検査、嘱託医による内科健診、及び服薬管理等を行います。

3. 事業所運営

(1) 利用者数 定員40人 現員35人(令和6年3月1日現在)

(2) 職員構成 (人)

管理者	サービス 管理責任者	事務員	生活支援員	看護職員	嘱託医	計
1 [兼務]	1	1 [兼務]	7 (2)	(1)	(1)	10 (4)

※1 ()は非常勤職員(別計)

※2 管理者及び事務員は相談支援事業所わかすぎと兼務

(3) 主な会議

- ◎法人運営会議…原則月1回、理事長・常務理事・各事業所管理者等にて開催し、法人運営に関わる様々な課題の検討や報告、法人運営の方向性を確認します。
- ◎職員会議…月1回、事業所の運営等に関わる課題について検討します。
- ◎支援会議…利用者支援のあり方や支援意識について検討します。
- ◎ケース検討会議…利用者の日常的な課題に対する検討を、必要に応じて行います。また、年2回(9月・3月)のモニタリング時に、全利用者のケース検討会を行います。
- ◎虐待防止委員会…利用者の虐待を防止し、身体拘束等の適正化を推進するための委員会を開催します。
- ◎ハラスメント防止委員会…ハラスメントを防止するための委員会を開催します。
- ◎感染防止委員会…新型コロナウイルス感染症等の感染を防止するための委員会を開催します。

(4) 人材育成(職員研修)

利用者支援の専門性と質の向上、人権意識の向上及びコンプライアンス意識の醸成を図り、また、資格取得のバックアップを図ります。

- ◎虐待防止や身体拘束等の適正化、感染症防止の研修(実習)を行います。
- ◎各種団体が開催する研修会に積極的に職員を派遣します。

(5) 設備・営繕関係

財源確保に努めながら、優先順位をつけて対応し、施設の環境整備に努めていきます。

4. 活動内容

(1) 余暇活動

- ◎ 音楽活動(踊り活動[月1回]含む)
- ◎ 創作活動
- ◎ お菓子クッキング
- ◎ ドライブ
- ◎ 所外活動(商業施設の訪問等)
- ◎ 軽スポーツ 等

(2) 生産活動(作業)

- ◎ 自主製品…名古屋市指定ゴミ袋等を使った粗品セット作り・販売
- ◎ 委託加工…箸入れ・箱折り・釘袋詰め
- ◎ 飲料販売…自動販売機の管理運営
- ◎ その他 …古紙・アルミ缶リサイクル

(3) 週間プログラム

	月	火	水	木	金
A	作業	作業	作業	作業	作業
B	作業	作業	作業	作業	作業
	ドライブ	ドライブ	ドライブ	ドライブ	ドライブ
	軽スポーツ	軽スポーツ	軽スポーツ	軽スポーツ	軽スポーツ
昼休憩					
C	作業	作業	作業	作業	作業
	音楽	音楽	音楽	音楽(踊り)	お菓子 クッキング
	所外活動	所外活動	所外活動	所外活動	
D	作業	作業	作業	作業	作業
	創作	創作	創作	創作	お菓子 クッキング
	所外活動	所外活動	所外活動	所外活動	

※午前のB～午後のC・Dは、いずれか一つの活動を選択

※所外活動では、社会とのかかわりに着目し、公園や商業施設等を訪問することによってさまざまな体験をする機会を提供

5. 行事

利用者がその時々季節を感じられるような行事を行います。

月	行事名
4月	年度はじまりの会 春のランチ会
7月	サマーイベント
8月	夏のランチ会
10月	日帰りバス旅行
11月	若杉まつり 秋のランチ会
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	冬のランチ会

※感染対策等のため変更する場合があります。

6. 新型コロナウイルス等の感染症対策

BCP計画に基づき、利用者と職員の健康と安全を守ることを第一として、事態の緊急度に応じた対策を実施します。引き続き、利用者の毎朝の検温と体調確認、登所時・食事前のうがいや手指洗い、休憩時間等の換気、昼食・帰りの会等の時差化や分

室化などを行います。

7. 防火・防災計画

利用者の安全を最優先として、避難体制の確保と強化を図ります。火災・地震別に自主防災組織を編成し、年間計画表に基づいて防災訓練を実施します。訓練の実施にあたっては、より実践的な訓練に努め、防災会議を開催し、職員の防災に係る知識を高めます。

8. 実習生等の受け入れ

(1) 利用体験実習

在宅又は就学中の障害者(児)を対象に、日常生活全般及び実社会における適応能力等の確認の場として利用体験実習を受け入れます。

(2) 社会福祉士及び介護等体験実習

社会福祉士の資格取得の実習や教員免許取得の介護体験実習等、学生の目的に沿った内容を提供します。

(3) 職業体験

地域の中学校等が実施する職業体験のため、生徒・学生等を受け入れます。

9. ボランティアの受け入れ

利用者や事業所の理解を深めていただくとともに、利用者の社会的自立の支援の一環となるように、ボランティアを積極的に受け入れます。

10. 広報活動・ネットワーク作り

(1) 若杉まつりや事業所の紹介パンフレットを通じて、地域社会に広く経営理念等を伝えていきます。

(2) 昭和区障害者自立支援連絡協議会を始めとする各種団体との情報交換、交流の場に積極的に参加します。

11. 社会貢献活動

(1) 法人の基本理念を基に、地域の町内会の集会や子ども会のラジオ体操会場の提供など地域に積極的に役立ちます。

(2) 名古屋市の福祉避難所として登録されたことを受け、地域防災活動に貢献します。